

現場部局

都民安全総合対策本部
総合推進部

スタートアップ

ジオ・マーク株式会社

協働テーマ

電動キックボードをはじめとする特定原付の安全利用について、魅力的な「啓発ツール」を開発し、都民の理解促進へつなげたい！

■ 現場課題

課題詳細

特定原付の安全啓発はチラシや動画配信等の受動的手法では効果が限定的で、車両区分誤認や学習機会不足も課題となっている。
本プロジェクトは、新たに開発する体験型の「啓発ツール」により能動的な体験を通じて、違反・事故抑止に向けた交通ルール等の理解促進を図ることを目的とする。

課題解決による 想定成果・効果

地図を活用した課題解決の知見に体験型ゲームとAI画像判定を組み合わせ、実在の街を再現した3D走行体験等で参加型の交通安全啓発を構築。
状況判断を伴う体験により安全意識向上を図り、違反抑止・事故減少への可能性を検証した。

■ プロジェクト概要

課題に対する ソリューション

都政現場における特定小型原付の安全利用啓発の課題に対し、新宿の街を再現した3DWebゲームとAI車両判定ツールで構成される啓発ツール「特定小型原動機付自転車安全運転チャレンジ『特チャレ』」を開発・活用。
体験型学習を通じて交通ルールの理解促進と行動変容を図るソリューションを実装した。

協働 プロジェクト 内容

『特チャレ』の開発にあたっては、限られた期間内で迅速に全体設計を行い、確定要件から先行着手しつつ制作とUATを並行して品質を高め、Web公開（実証実験の開始）に結び付けた。
Web公開後は、KPIを日時単位で管理しながら広報施策と連動させた。
その結果、多くのユーザーに体験機会を提供するとともに、アンケートを通じた効果測定により交通事故減少に向けた示唆を得た。

成果

本プロジェクトは、体験型の啓発ツールを通じた交通ルール理解の促進と安全意識向上を想定成果としていた。結果として、利用実績・アンケート回収数はいずれも目標を上回り、学習効果および意識変容指標も基準値を達成し、行動意識への波及が確認された。
都政現場とスタートアップの協働により、従来の受動的広報に代わる参加型啓発モデルを構築し、行政の課題認識と民間の地図・ゲーム開発技術を融合した実践的な連携を実現した。また、特定原付利用者のみならず非利用層にも理解促進効果を生み出し、今後の交通安全施策に資する知見を獲得した。

【3D Webゲーム】



獲得したポイント

残り時間
プレイ時間4分

ウインカー
左右ウインカーが点灯します

押す →ON

もう一度押す →OFF

6km/hモード
最高時速が6km/hに

押す →ON

もう一度押す →OFF

ブレーキ

アクセル

左を向く 右を向く

【AI車両判定ツール】

